

令和8年3月4日

福知山市議会議長 吉見 茂久 様

予算審査委員会委員長 田淵 裕二

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・ 議第128号 令和7年度福知山市一般会計補正予算（第9号）
- ・ 議第129号 令和7年度福知山市水道事業会計補正予算（第1号）
- ・ 議第130号 専決処分の承認について

2 審査の概要

2月26日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いましたので、主な概要について報告します。

初めに、議第128号の大規模災害対応力強化事業について、「物品の配備先と出水期までの早い時期での配備」を問う質疑があり、「市内6か所の防災倉庫うち夜久野に保管する計画で進めている。全国的に防災資器材の需要が高まる中、1日も早く配備できるよう努めていきたい」との答弁がありました。

次に、物価高騰対策定額給付金事業について、「事務委託費の主な内訳と給付対象の全市民の把握方法」を問う質疑があり、「非課税世帯等の給付金と同様に、口座が把握できる世帯はプッシュ型の給付で進める予定にしており、事務委託費の主な内容は、運用環境の構築費、コールセンターの運営費、申請内容の確認・データ作成費、システムの初期構築費用、申請書の印刷費用などである。全市民の把握方法は、令和8年3月1日を基準日として、住民基本台帳からデータ抽出を行う」との答弁がありました。また、「支給方法にマイナンバーの活用」を問う質疑があり、「今回は、市民税非課税世帯の給付者に加えて、令和2年度に全市民を対象に実施した1人10万円の特別定額給付金の口座により7割、8割の方にはプッシュ型で支給できると考えている。今後も引き続きこのような給付金があるならば、マイナンバーの活用も視野に入れる必要があると考えている」との答弁がありました。

次に、KTR支援事業について、「本市負担分の負担割合」を問う質疑があり、「27.72%が本市の負担分となっている。この負担割合は、宮福線の沿線市の福知山市、舞鶴市、宮津市の出資割合に基づき決めている」との答弁がありました。

また、「車両購入の計画と運行時期など」を問う質疑があり、「今後10年間で車両8両を購入する計画で、今回2両を更新する。今回製造にかかる車両については、令和10年の運行予定になっている」との答弁がありました。

次に、小学校施設環境改善事業について、「補助対象経費の内容」を問う質疑があり、「補助対象は、標準仕様の便器の更新や基準面積内のトイレブースの設置、標準仕様の内装改修、基準範囲内の給排水の更新などとなっており、補助対象外の経費は、基準面積を超える部分の工事や付帯工事といったものである」との答弁がありました。

続いて、議第129号の水道事業の補正予算について、「損益勘定留保資金の残高と今後の見通し」を問う質疑があり、「令和6年度の決算時点の残高は、6億7,389万9,000円で、今回の補正をした上で、令和7年度に発生した額を合わせて、9億4,265万5,000円となる見込みである。施設更新は計画的に行うとともに、資金計画も有利な補助金や起債を活用し、損益勘定留保資金以外の財源確保にも努めていきたい」との答弁がありました。

続いて、議第130号の専決処分の承認について、「衆議院議員総選挙関係費用の積算根拠とポスター掲示等の委託料」を問う質疑があり、「令和6年執行の衆議院議員総選挙の経費を基に計上している。委託料関係の経費は専決分ではなく、予備費で先行して執行させていただいた」との答弁がありました。「また前回の選挙と比べて経費が増額となった理由と市の負担額」を問う質疑があり、「職員手当等の人件費が増額となっている。国の選挙であるため基本的には全て交付金で賄われる」との答弁がありました。

反対討論

なし

賛成討論

なし

3 審査結果

- ・ 議第128号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第129号 全員賛成で原案可決
- ・ 議第130号 全員賛成で原案承認